

1月末の人口
 世帯数 552世帯
 男 667人
 女 670人
 計 1,337人
 (馬路 1,006人)
 (魚梁瀬 331人)



広報

うまじ

平成5年2月1日発行
 第一四九号
 編集 馬路村教育委員会
 発行 馬路村教育委員会
 印刷 安芸タイプ



前列右から
 南 昌子(南 磨熙)
 木下 法子(木下 泉)
 乾 弘美(乾 義昭)
 尾谷 暁(尾谷周三)
 乾 愛佳(乾 充典)
 西野 里紗(西野賢一)
 中列右から
 古田まどか(古田房夫)
 伊吹 香絵(伊吹衛章)
 新居 朝香(新居義治)
 中河富美子(中河 武)
 小松まどか(小松 忍)
 後列右から
 笹岡 和仁(笹岡昌澄)
 樋口 達也(樋口真澄)
 東谷 一幸(東谷和安)
 乾 和也(乾 朗)
 乾 真琴(乾 求)



成人おめでとう。大人になるとなかなか社会は厳しい。若いうちにせいだして外で勉強しちよいて遊んで、25歳になつたら村へ戻ってこい。それで青年団活動をいっしょにやっつて、婿やら嫁を探す。今の時代は適齢期が40歳ばあまで伸びちゆうきに、まず大丈夫じゃ。若い力でこの村に元気をつけようじゃないか。(吉松正博青年団長の祝辞)

私たち新成人一同は、今日からは自己の人格完成へ努力すると共に、外は国家社会の繁栄と向上とに協力する真の民主的日本人となるべく、一層がんばることを誓います。(笹岡和仁成人代表の答辞)

今月のスポット

《12月》

- 4日 馬路地区はし拳大会
- 6日 馬路古式行事保存会神楽の発表
(馬路熊野神社)
馬路小中学校すもう大会(馬路熊野神社)
- 8日 魚梁瀬体育会役員会
- 9日 馬路村特別職等報酬審議会
60歳いきいき大学(就業改善センター)
リハビリ教室
- 10日 英会話教室(魚梁瀬公民館)
- 11日 役場庁舎建築設計コンペ説明会5業者
馬路スポーツ少年団優勝祝賀会
- 12日 民生・児童委員定例会
- 13日 日本カモシカ研究会結成総会
- 15日 村内校長教頭会
- 18日 12月村定例議会開会
安芸郡市中学校駅伝競走大会
- 20日 母子・父子クリスマスの集い(田野町)
- 24日 各学校終業式
- 28日～ 土佐女子高等学校バレー部合宿
(馬路公民館)

《1月》

- 1日 元旦
魚梁瀬体育始
- 2日 成人式・記念講演「エイズってなあに？」
馬路体育始
- 5日 馬路商工会福引き(就業改善センター前)
- 6日 消防出初式
- 8日 各学校始業式
- 10日 吉井勇歌碑除幕式・東屋落成式
- 12日 森林組合安全祈願祭
(就業改善センター)
- 13日 馬路温泉宿泊施設新築工事入札
部落長会(馬路温泉)
独居老人等お弁当サービス
- 20日 村内巡回図書サービス
- 23日 第11回村民駅伝競走大会
- 24日 親子野球大会(村民グラウンド)
- 28日 三者(農協・森林組合・役場)懇談会
- 30日 馬路小学校校内マラソン大会

フォト・フォーカス



12月9日 リハビリ教室



12月9日 60歳いきいき大学



1月2日 成人式



1月2日 体育始ピットリマラソン



1月10日 吉井勇の歌碑除幕

村内あちらこちら

新年にあたって

馬路村長 西尾晃一郎



村民の皆さん、新年おめでとうございます。

ここに希望の新春を迎えるに当り、皆さんのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

昨年は佐川急便事件やバブル崩壊のもたらした経済不況さらには激動する世界情勢等の内外共に多事多難な一年でありました。それでも我が馬路村におきましては、村議会や村民の皆様の大なるご協力とご支援を頂きまして、村政は多くの課題を抱えながらも着実な歩みをつづけ、ここに希望に満ちた平成五年の新春を迎えることができました。このことを深く感謝申し上げます。

本年は村庁舎の建築をはじめ馬路温泉の宿泊施設、高齢者保健福祉十ヶ年戦略の拠点

となります。デイスタービスセンターの建築など懸案の事業が実施年度を迎えます。また将来、資源の枯渇が予想されます魚梁瀬杉の家の建築についても計画を進めて参りたいと考えております。

ご承知のとおり本年は国の第十一次道路整備五ヶ年計画がスタートする年であります。道路は地域の産業経済、文化などすべてのものの発展の根幹をなすものであります。特に本四架橋、高速道路の開通による交通新時代を迎え、整備の遅れている道路網の整備を促進することが急務とされております。このため本村と安田町で結成しております県道安田東洋線・魚梁瀬公園線期成同盟会においては県道の二車線化と広域基幹林道大木屋・小石川線の県道昇格について運動を強力に展開することとしております。

このほか、低迷する林業の活性化対策や若者の定住促進事業を中心とした村の過疎対策等重要課題が山積しており、本年こそは馬路村の躍進の基礎固めの年として村政全般の



内容充実のため最大の努力を傾注いたす所存でありますので何卒旧に倍するご指導とご

鞭撻の程お願い申し上げます。それでは、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



記 験 体

第一回高知県高齢者 洋上セミナー教室研修

○主催 財こうち長寿セン
ター

○研修先 群馬県新沼村

同 邑楽町

○期間 9月28日

10月2日

○目的 二一世紀に向けて
長寿社会の生きざ
まを考え、新しい
高齢者像づくりや
老人福祉センター
ならびに在宅介護
支援センターなど



こ
ち
ら

の施設について先進地の視察
をする。

公文 和市

ホテルで目をさませば、さ
すがに長旅の疲れが六七才の
老体にはこたえている。知事
から壮行の言葉をいいただき、
私たち一行一一人（男六四
人・女四九人・平均年齢六六
才）は高知港からの船旅二〇
時間、東京からバスに乗り五
時間を経て、ここは群馬県新
沼村たくみの里である。

老人クラブ連合会長の言葉
によると、巧とは何事も手ぎ
わよくできる里の意味である
とのこと。新沼村には、香の
宿、石工宿、木織宿、わら細
工宿、和紙の里など昔からの
伝統ある産業形態や史跡が数
多く現存している。その宿へ
行けば巧の老職人が作業して
おり、希望によっては道具と
資材の提供を受けて自由に実
習することができる。また村
内巡りのために自転車も二〇
台余り備えてあり無料で利用
できる。これらコースの案内
役も含め、巧の作業や産品の
販売、村外発送なども村の老
人クラブの会員で運営し、平
成三年度で六千万円ぐらいの
収益をあげているようだ。
村と老人クラブ会員が一体
となって村の発展に貢献して
いるようすが随所にうかがえ

る。交流会の席での活気みな
ぎる自己紹介にも、自分たち
の事業実施に自信を持ち、誠
意をつくしている熱っぽさに
研修者一同が敬服したことで
した。

翌日は、邑楽町ぬくもりの
里へ場所を移しての研修とな

った。ここは老人クラブが二
八団体あって会員数は二一九
七人で構成するとのことであ
る。町老人クラブ連合会の活
動目標を代表するぬくもりの
里とは、長年にわたって蓄積
した生活の知恵と技能を縦横
に駆使して、生産から販売ま



同行の研修生と共に榛名湖にて

で一貫して会員の手で成し遂
げることにより活発な社会参
加と生きがいの高揚を図る自
主自立の精神を実践する価値
の高い営みであるように思え
ました。このために、正月用
のシメ縄飾りや手作り味噌、
漬物など多くの産品を会員の
能力に応じて生産し、販売活
動に力を入れていくとのこと
でした。

次はデイサービスセンター
へ場所を移しての施設見学と
なりました。施設の充実ぶり
に感動しながら関係者に規模
を尋ねると敷地九五七㎡、鉄
筋コンクリート平家建て三四
九・八〇㎡、施設費一億一千
三百万円、設備費一千四百万
円ぐらいであり、そのほかに
も維持費がかさみ運営が大変
なようです。

馬路村でも、高齢者に介護
が必要となっても住み慣れた
この村か我が家で生活しなが
ら、介護にあたる家族も気軽
に利用できるような福祉施設
が近くに完成されるように願
いたいものです。

最後に、多年にわたり激動
の時代を過してきた私たちは
人生八〇年時代にふさわしい
生き方を目指して、日々心
を新たに二一世紀へ歩ん
でいきましょう。

視察

あちら



第三回 安芸広域市町村圏 地域づくり 海外調査研修

○主催 安芸市町村圏事務組合

○研修先 アムステルダム

ゼーバツハ
ルツツェルン
パリ

○期間 10月25日

～11月5日

○目的 海外における多様な地域づくりの手法について学ぶ。

小松 博

この眼で地球の反対側を見てみよう
と決意し、二回の事前研修を受け十月二十五日、中谷室戸市長を団長とする二十

人がヨーロッパに向けて旅立ちました。団員は安芸郡市九市町村から各々二人ずつで、本村からは清岡博之君がこれに含まれている。

貿易で古くから繁栄してきた町らしい異国情緒たっぷりアムステルダムで二夜を過ごし、今回の主な視察先の一つであるドイツのゼーバツハ村へ午後七時頃に入る。その夜のベア村長ほか村内の方々の招いての交流会では家庭での後継者問題や大気汚染、森林衰退、老後対策など日本でも同様の問題が多いことに気が



ついた。

つづいての交歓会ではバスのなかで練習したはずのコーラス「ローレライ」がうまく合わず、逆にベア村長の地元民謡が抜群にうまく私たちは気のひける思いにかられた。それでもオランダのホテルの庭で練習した鳴子踊りは彼らに好感をもって受け入れられ、すっきりなごやかなり、とても嬉しい気分になって、盛んにシャッターをきった。

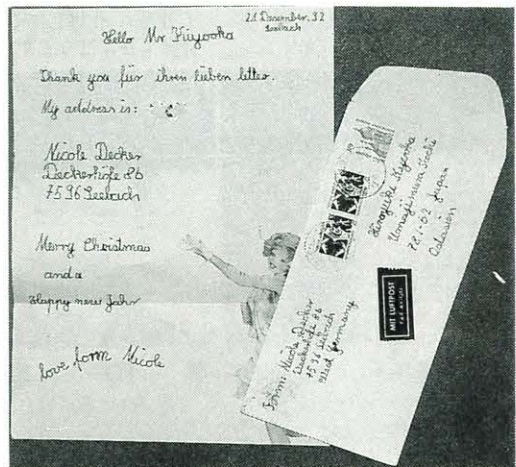
次の日は村役場で村長から熱っぽく村おこしについて話をきいた。農林業の衰退により、観光開発による村の発展が重要であることを認識し、村の観光案内所を設けるなど力を入れていく。自然をたいせつにし、美化に努め、遊園地・ベンチ・散歩道など観光立村にふさわしい環境保全や改善努力を二〇年ほど前から計画実行してきたそう。村長以下村民の観光に対する意識の高さには、カルチャーショックを受けると同時に村おこしは一人

一人の意識の問題であると痛感した。

また、村の土地の七五％は森林で四対六の割合で州と住民の財産である。製材工場が四箇所あり、製品の九五％は村外へ販売され、原木は主にモミ・マツ材で建築用材及び梱包の木枠などに使用し、木

くずは集成材加工され、余すところなく利用されている。ここには合計で約八〇人の村民が従事しており経営状況は良いらしい。高知県へ来たこともあるベア村長によれば、日本人の印象は勤勉で厳格、礼儀正しく友好的であるとおほめをいただき恐縮してしまった。

こうして黒い森の村ゼーバツハで二泊して国境を越えスイスへ入る。ピラスト山の麓にあるルツツェルン市では、市の職員案内により古い町並みを視察する。数百年前に描かれた絵が建物の壁面を飾り、歴史の重さを感じさせる。村の中心部は公共輸送設備が整っており、空気・環境の浄



ゼーバツハ村ニコル（11歳）と文通

化に努めているとのことである。緑と人の調和のとれる旧市街地は保護地区に指定され、屋根・壁すべての保全を義務づけられ行政の並々ならぬ努力が伺えた。

最後にパリで三泊したあと帰国の機上から眺める中国大陸の真赤な朝焼けに感動しつつ、四箇国の視察を終え、何に対しても前向きで一所懸命努力する人々の姿は美しいし、自ずと道は開けるものであると確信した。

今回、この視察を計画された方々に感謝すると共に地域づくりの一員として微力を尽していきたいと思います。



今年、**私たちが**主役

西とり

年どし

うまれつて
どんな人?

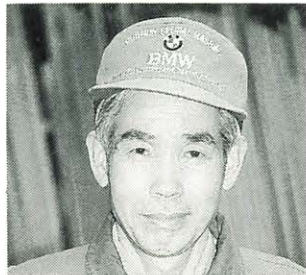
お詫びと訂正
今回の広報馬路に、間違いが
ありました。訂正してお詫び
します
訂正箇所
新玉美和さんと山崎次思さ
んの記事が入れかわって
います。



新玉 美和さん 昭和56年生
クッキーやケーキなどのお菓子作りが大好きです。お母さんよりも料理が上手かもしれません!



乾 恭介さん 昭和32年生
にわとり(!?)のようにバタバタと飛んでどっか行きたいのお。今年もいきって鳥と猪を捕まえる!



栢山 逸男さん 昭和8年生
観光に力を入れて、まず温泉の食堂、杉の家を作りたいねえ。これが魚梁瀬の発展につながってくれたら...



乾 佐美子さん 昭和8年生
今はまだ休養中で家でゴソゴソしゆうけんど、春が来たらちつとは仕事を始めにゃあいかんと思いうう。



乾 光典さん 昭和20年生
50が近うなると歯へきて、目には自信があったけれど眼鏡かけなあ字が見えんし、三つめの方も...もう年よ。



坂本 敬子さん 昭和32年生
とうふ? あっ抱負ねえ...一言写真撮るが言うちよってくれたら、化粧してくるにい。今年もがんばります。



清岡 満子さん 大正10年生
仕事して、うだつの上からん「ばたばたびんぼう。いうて言われよらねえ。あてえその酉年よ!



林 寛幸さん 昭和44年生
遊びに仕事にはりきって、今年もがんばります。結婚はまだ先の話...まだやりたい事いっぱいあるきん。

さるは去り、今年酉年です。酉年にちなんで酉年うまれの人の特集をする事になりました。そこで、「馬路村の酉年うまれの人集合!!」

「と叫んでも、なかなか」つるの「声」のように、みんなが集まってくれる...訳もないので、年男・年女を探しに、「いざっ出陣!!」っと意気込みもむなく、

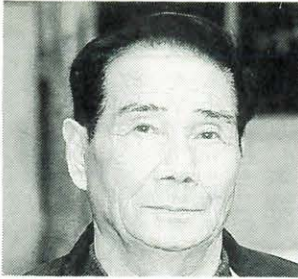
「あてらあみたいながをなっちやあ写真に撮らんでも、もつと他におるろがねえ」と連敗続き...

「なかなか皆、写真を撮らしてくれんなあ」と変なところに感心しながら再度チャレンジ!!

心よく引き受けてくれた方「いかんちゃ」などと言いなからカメラ目線になっていた人、ありがとございました。

カメラのレンズからのぞく馬路村特産の笑顔は最高!! この笑顔は馬路村のシンボルマークだね。

産地直送の年男・年女の笑顔を皆さんの元へお送り致します。



小松久五郎さん 大正10年生
 生まれは安芸やけど魚梁瀬におる方が長い。畑でもありゃみつぶしになって本当えいけんどのお。



岩崎 りささん 昭和44年生
 結婚はまだする気はないけど、密かに「婿養子募集中！」18歳～35歳まで受け付けゆうきん、どしどしご応募下さい。



山中 照喜さん 昭和20年生
 30分ばあ前に検診の結果ポリープがでちゅう言われてねえ、健康が一番！体が悪かったら、どうにもならんきん。



南 策馬さん 明治42年生
 82歳まで山へ間伐に行きよったけど、ちっとこたえたくもでてきた。調子のえい時は今も山へ行きゆうぜよ。



清岡 令子さん 昭和8年生
 年をとっても女であることを忘れないよう心がけんと。保育の仕事も後1年になったのでより一層がんばります。



益田 貴文さん 昭和56年生
 残り少ない小学校生活を楽しく過ごしたい。中学校へ行ったら、英語をがんばってやりたいと思う。

なんちやあ、なんちやあ
 おばあちゃん
 の笑顔は
 最高やき



岩城 熊子さん 明治42年生
 あてえ毎日漬物つきゆう。「どう、この漬物見てくれてん！」これがあてえの元気の元よ。じっとしてはおれんき。



細川 春野さん 明治42年生
 見てくださいや。昔はこの官舎もいっばいおったけど、今はもう空家ばかりになってさみしいなってしまうた。

みんなの笑顔は
 村いっばいの笑顔



小原 和子さん 昭和8年生
 今年3月で退職。ダムの底から一緒に上がって来ておるけど、これからも魚梁瀬におれたら一番えいけんどねえ。



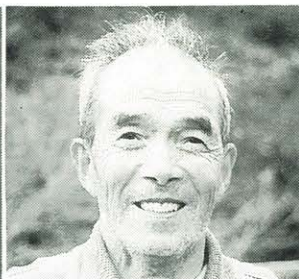
秋山 順一さん 昭和20年生
 天然林に代わる人工林を育て、魚梁瀬林業の継続性を図りたいですね。女房もこちらへ来ています。趣味は磯釣り。



山崎 次恵さん 昭和56年生
 妹のかなえは、まだ小さいき、お母さんが忙しい時は、私がお守りしてます。赤ちゃんの事ならまかして!!



梶原 浩二さん 昭和44年生
 佐賀県出身で馬路に来て3年目になりますが、これからの営林署や馬路村がどうなるのか気になりますね。



小松 幸真さん 大正10年生
 すねさえ痛うなけりや、博に負けんけんどのお。まあ、病気もせんと「ごちごち。やるが一番よ。



南木 雪子さん 昭和32年生
 うっふ・ふ・ふ。

教育の窓

このたび、生活綴方の父と仰がれる小砂丘忠義先生（大豊町出身・昭和十二年没）の業績を顕彰し、本県作文教育の向上を願って設けられ、全国的にも高く評価されている「小砂丘賞」を、村内から次の方々が受賞しました。

【子ども小砂丘賞】

○最優秀

松田恵志（魚中一年）

○優良

山下あい（魚小二年）
門田まい（魚小三年）
岡林有可（同）
門脇裕司（魚小四年）
宗石昌也（同）
松田卓哉（魚中二年）

【文集小砂丘賞】

松田千恵（魚小教頭）

松田教頭は、「あしあと」「ささぶね」など三、四年生の学級通信などを毎月発行し、これが文集としても高く評価されたものです。



学級通信「ささぶね」



おじいちゃんのおいとおぼく

松田恵志

ぼくのおじいちゃんは、三年前の六月八日にこの世を去りました。満七十歳でした。現在の平均寿命からいうと、まだまだ生かれる年齢です。ただ、なくなる四年ほど前に、脳こうそくという病気で、体が不自由になりました。安芸市内の病院に入院したり、老人ホームで介護してもらったりしました。そのうちに、だんだんと体が弱ってきて、言葉もはつきりしやべれなくなってきたのです。そして、ベットから起き上がることもできなくなっていました。でも、一度は奇跡的なでき

ごとがありました。病院から老人ホームへ退院する一週間ほどの間に、つえやものにつかまると歩けるようになったのです。とても元気なつきそいのおばさんが、「寝よらんと、歩いてみ、歩かないかん！」と厳しく、おじいちゃんをしょいで、連れて歩いてくれたからです。この時は、家族みんなが驚いたり喜んだりしました。一番うれしかったのは、歩けるようになったおじいちゃんだったと思います。ぼくが小学校三年のころから、おじいちゃんのお見舞い

に行くのが、仕事のひとつになつていました。毎週水曜日は、三キロメートル離れたとなり町の老人ホームに行くのです。保育の時から使っている小さい自転車だから三十分もかかります。友達と遊びたくって、時々ずるをすることもありました。一つ年上の兄が、一人で行ってくださることもありました。そんな時、母は涙ぐんで、「おじいちゃんにとって、恵志が来てくれることが、たった一つの楽しみやろ。さびしがらよ」とおこりました。おじいちゃんの好物のおすしやお菓子を持って行くと、たいへん喜んで、「今、一つ食べらして」と言つて、すぐ口に運びました。話ができるうちは、おじいちゃんの話相手になりました。ぼく達が絵本を持って行って読んで聞かせてあげることもありました。そんな時、おじいちゃんがにこにこしていた顔を思い出します。おじいちゃんの楽しみの一つは、ぼくたちにおこづかいをくれることでした。引き出しから、自分の手でお金を取り出して、ぼくと兄の手に渡してくれるのです。でも、体が不自由になるにつれて、そ

おしらせ

コイナ

◎所得税の確定申告

平成四年分（平成四年一月一日から平成四年一月三十一日まで）の所得税の確定申告は、二月一六日から始まります。申告期限は三月一五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくようになりかねません。確定申告はできるだけお早めにお済ませください。

◎所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従つて自分の所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。詳しいことはお気軽に

安芸税務署

☎〇八八七三

五一一一五

へどうぞ。また納税相談は二月二三日（火）に就業改善センターで行います。

の楽しみさえなくなっていきました。

「おじいちゃん、桜の花が咲いたよ。ベッドを起こしちゃうきん、窓の外を見て」

と言っても、首をふるようになりました。だんだんしゃべれなくなつて、お見舞いに行つても話も通じなくなり、笑うことが少なくなりました。

そんなおじいちゃんの姿を見ると、ぼくはつらくて、何ともいえませんでした。天井ばかり見る毎日は、とてもやりきれなくて、さびしかつただろうと思います。

おじいちゃんが田野病院に入院してからは、毎日洗たく物を取りに行くのが、ぼく達の日課になりました。母の勤務先がかわつたことと、時間が不規則になり帰宅が遅くなつたからです。母は真夜中になつても洗たくをして乾燥機でほしてたたみ、次の日には届けられるようにしていました。

このころになると、危とく状態になつて、病院へかけつける回数が増えました。熱が出て肺炎になつたり、たんがつまつて呼吸ができにくくなつたりするのです。母は休む暇もなく、おじいちゃんの面倒をみたり仕事へ行つたりでした。おじいちゃんがなくな

る数カ月前、母はぼくたちに、「お山のお家へ連れて帰つて、生まれた家で死なせてあげたい。病院から出れば命は縮まるけど、おじいちゃんは家に帰りがつてゐるし、仕事をやめることができたら」と相談しました。ぼくはすぐに、

「お母さんがそうしたいのなら、仕事をやめて、おじいちゃんの面倒を見てほしいよ」と答えました。でも、兄の考えは、ぼくとは少しちがっていました。

「お母さんやおじいちゃんの気持ちはよくわかるけどぼくたちの事も考えてよ。将来の事を考えて、仕事はやめんとつて」

と母に頼んでいました。みんながおじいちゃんのことを考えて泣きました。母の願いはかきませんでした。

おじいちゃんがなくなる前の夜、ぼくたちは、おじいちゃんの手や足をさすり続けました。骨と皮ばかりになつてしまつて体が小さく見えま

つておじいちゃんは静かに眠つてゐるようでした。夜明け近くにそのまま息をひきとつたそうです。

「人の役に立つように」と希望していたおじいちゃん

の意志を生かして、母はお

じいちゃんの体を、高知医大へ献体しました。この時、兄は泣きながら、

「おじいちゃんをこれ以上、いためにあわしとくない。このままお墓へ入れちゃうろう」と言いました。ぼくは、おじいちゃんの希望通りにしてやりたいと思つていたので、黙つておじいちゃんについて行きました。

お葬式が終わつた日、母は、ぼくや兄や父に向かつて、

「長い間、おじいちゃんの面倒を見てくれてありがとう。ほんとうにいろいろお世話になりました」

とお礼を言いました。その時も兄は、

「お母さん、それは違うで。いろいろ教えてくれたりしてくれたのはおじいちゃんの方。お礼を言うのは、ぼくらの方で」

と、はつきり母に答えました。ぼくも同じ気持ちでした。それから四日間、母は寝こんでしまいました。

昨年十月に、おじいちゃん

の体は解ぼうされました。十一月二十四日に、やつとぼく達家族の所へ帰つてきました。家族みんなで、おじいちゃんを迎えに行きました。ぼくは、

「おじいちゃん、ごころう

さま」と言つて、胸にだいて帰つてきました。今はおじいちゃんのお骨を、家でお祭りして

います。しばらくしたら、お山の家でお墓を建てて、ゆつくりねむらしてあげます。

ぼくは、おじいちゃんの入院生活や死をまのあたりにして、人間の生きがいは何かと考え続けました。特に体が動かなくなつた時、心の通い合いがほしいだらうと感じたのです。おじいちゃんは、どこへ行つても、みんなが親切にしてくれました。ぼくたちといっしょに暮らすことができたのは二年間ほどです。

体の弱かつたぼくも、いろいろな人の愛情に支えられて、ここまで成長してきました。人のつながりは家族だけではないことも体験しました。だけれど一日一日を大切に生きなければならぬと思ひます。将来、人の役に立つ職業にしようと考えているのは、こんな理由です。そして、おじいちゃん

の意志を、大切に受けついでいきます。

住宅を建てたいのですが

☆利子補給制度

県では、安心のできる業者（性能保証登録業者）が建てるしつかりした、木造住宅（優良木造住宅）が基準を作つています（す）を応援しています。

住宅金融公庫の基本融資額＋優良木造住宅割増二〇〇万円に対して、五年間、一％の金銭補給を行います。

☆融資制度

自分の家を持ちたいけれども住宅金融公庫の資金だけでは足りないという方のためには、木造でも木造以外でも四〇〇万円を五、五％で二五年間融資します。（県外からの転入者または転入予定者には更に有利となっております）

制度についての詳しいお問い合わせは

高知県住宅課
☎〇八八八
二三一九八五七
までどうぞ。

毎週土曜日は閉庁となっておりますので、ご注意ください。



馬路村の
歴史と
伝説



〈通算第43回〉

馬路の民謡(4)

馬路公民館長 山中 巖

祝い歌

座興歌

ぼたもち

ひとつのこんたん

〱つくぞつくぞよ ぼたもちや
黄粉よ 黄粉つけたらなお
よかろよ ありやよいよい
よい
〱だんな大黒奥さんえびすよ
ござるお客は福の神よ
ありやよいよい
〱このお家は目出度いお家
よ 鶴と亀とが舞い遊ぶよ
ありやよいよい
〱鶴と亀とはなんとというて遊
ぶよ お家ご繁昌というて遊
ぶよ ありやよいよい
〱ばんば喜べ今度の嫁はよ
仕事嫌いでアレが好きよ
ありやよいよい
〱ばんば夜飯にやアレしよじ
やないかよ おおさその気
でまたかぬよ
ありやよいよい

〱ひとつのこんたん こりや
どうじゃ 人目のあるのに
乗れ乗れと 乗るなり持上
げてゆるゆると
色じやないぞえ
人力車あええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱ふたつのこんたん こりや
どうじゃ 太くてはまらに
やつばつけて ひねつてよ
りこめ
色じやないぞえ
針の穴ええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱みつつのこんたん こりや
どうじゃ みじて届かぬ
気の悪さ もとまではめん
せ
色じやないぞえ

ねかもじをええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱よつつのこんたん こりや
どうじゃ 横にとさせばし
ずくたる まともにささん
せ
色じやないぞえ
からかさをええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱いつつのこんたん こりや
どうじゃ 今いきますの
りなされ のるなり漕ぎ出
す
色じやないぞえ
渡し舟ええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱むつつのこんたん こりや
どうじゃ 無理に下にとま
わりこみ 下から持ち上げ
りやもっこもっこ
色じやないぞえ
畠荒しのもぐらもちええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱ななつのこんたん こりや
どうじゃ なんぼしいても
しい足らん する程良くな
る
色じやないぞえ
道普請ええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱やつつのこんたん こりや

どうじゃ やんわりおさえ
てはめちよいて ずうと突
き出す
色ではないぞえ
トコロテンええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱このつのこんたん こり
やどうじゃ 子供を早よう
から寝かせておいて 毎晩
するぞえ
色ではないぞえ
針仕事ええ
それどっこいあどっこいど
っこ
〱とおのこんたん こりやど
うじゃ 隣りの後家さんと
話しておいて 毎晩通うぞ
色ではないぞえ
お風呂屋にええ
それどっこいあどっこいど
っこ
伝承者 清岡敬幸

馬路俳壇

百合子
草風付きし神輿を通し居り
葬列に音なく続く穂架かな
清子
家すてるな柚子すてるなど
夫は逝く
ぜいたくや湯舟一面
柚子浮かべ

一美
スコップを挿したるままや
今朝の霜
葎ほかに名なき小径かな
喜美栄
花柄の夜着に身を臥し
老いにけり
ゲートボールまず手をあぶる
焚火かな
雅子
山眠る男一人に犬五匹
冬の蝶言告げるかに
来たりけり
千鶴子
毛糸編み目数違へし勘さみし
つんと出て水仙の白
葉のみどり
うた子
着ぶかれて我が身の年も
見えにけり
平均寿命延びたる暇よ
日向ぼこ
善心
越知町へコスモスを見に
来いと言う
経の声にまじり笹子の
来て鳴けり
麗山子
老いてなお二重の顎や
冬日向
針祭りすでにちははは
居給わず



祭芸術 賞文芸

第42回高知県
芸術祭一詩の部
で最優秀の文芸
賞を魚梁瀬中学
校の島村三津夫

教頭が受賞されました。

自分の年齢をはるかに越えて生きてきた魚梁瀬の大木に対峙する杣師の姿を描いています。

「杣」

宇宙に向けられた
でっかいアンテナの群千本
山

そのふもとの村に暮らして
六十年

俺はひからびたこの手で
いったい何本の杉を切つて
きただろう

東の山の峰に一本だけ残さ
れた

魚梁瀬杉の大木は
俺を生まれた時から見守つ
てくれた木だ

俺が一人前の樵になつてか
らも

不意の大雨や嵐の日には
枝を広げて助けてくれた
夏の日盛りに稜線を登ると
ひんやりとした木陰で休ま
せてくれた

そのおまえとの別れの日が
来た

自然木が、おまえの仲間が
次々と姿を消していつて

ああ、今日とうとう

おまえを切らなければなら
ないのだ

この夏の嵐の中で

俺は一晚願つたものだ
強風に当つておまえが倒れ
てくれたらと

だが、おまえを切れるのは
俺しかないのだ

おまえを切つたら山を降り
る

杣は二抱えもある大木のも
とを

幾度も巡りながら
こんなことを大杉に話かけ
ていた

長い沈黙の後

大空を仰いだかと思うと
さげてきた清酒をぐつと口
にふくんでは

半分を大杉に、残り半分を
大斧に

ぶつと吹きつけて

天に向つて大きく振り上げ
た

斧に渾身の力をこめて
最初の一撃を大杉に加えた
のだ

四国山脈の東南の峰で
老いた杉は杣の心を

全て知っていたかのように
じつと耐えて立っていた

杣は機械で計つたようなり
ズムと速度で

斧をふるう
コーン・コーン・コーン

木を削る音が四方の山々に
老木の別れのあいさつのよ
うに木霊する

幾時間が経っていたらう
西陽が天狗の森に傾きかけ
た頃

一瞬、静寂があたりを支配
すると

すうつと風景が揺いだ
ゆっくり、ゆっくり杉は倒
れた

数十メートルの巨人が倒れ
るように

ズドドンと音がして

杣はわれに帰つた

ほとんど直な切り口だった
寸断されてもなお

地上の幹や枝や葉のため
失なわれたもののため

地下茎は命の水を送り続け
た

それは老大木の切り口で
杣の流した涙と共に

冬の星座を映し出した



島村三津夫さん

「杣」について

僕は文章が下手なのでい
くら書いてもなかなか納得
できる作品ができない。そ
れで、物事を見る時にでき
るだけ自分の足と目でき
かりと見ることにしている。

この作品は東川で魚梁瀬
杉を切り出しているお父さ
んたちが、木の伐倒現場を
子供たちに見せるならと、
二百数十年たった大杉を一
本だけ残しておいてくれ、
その木を切つた時の記録で
ある。

僕が驚いたのは、切られ
た木が伐倒後も地下から水
を吸い上げているという事
実であった。人も木も生き
とし生けるものはいつかは
死を迎える。しかし、切り
離されてもお、さつきま
であった地上の幹や枝や葉
のために水をくみあげ続け
る根っこに僕は心打られた
のである。僕達が忘れてし
まって、もう思い返すこと

がないかもしれない何かを
この一本の木から感じとつ
ていた。

広島で被爆したある母親
が、火に焼かれ死に絶えて
もなお赤子を抱きかかえ、
そのふところ赤子は生き
延びていたという話を聞い
たことがある。

もともと僕達が大切に育
んできた無償の行為とも言
うべきものを、この一つの
大木は教えてくれた気がし
たのである。人も木も変ら
ない、このような大自然か
ら人間の人をいたわる心が
生まれてきたのだと思えた。

この前に佐川文芸賞をも
らつた時、山の小屋でみん
なで新聞を読んだと言つて
お祝いの電話をくれたりし
た魚梁瀬の山林労働にたず
さわるお父さんたちや、そ
の家族の方々、長く山々を
守り育ててきた魚梁瀬の皆
様にこの作品を喜んでいた
だけならこの上もない幸い
である。

そして、今一緒に勉強を
している魚梁瀬中の子供達
が、この杉の大木のような
心を持った人間に育つて欲
しいというのも僕の秘かな
願いである。

乾 幸雄	小川 自一	乾 岩美	氏名	性別	年齢	死亡年月日	世帯主	続柄	部落
男	男	女			67	4・11・25	龜喜	妻	朝日出
5・1・12	4・12・25	4・11・25							
幸雄	自一	龜喜							
本人	本人	妻							
相名	魚梁瀬	朝日出							

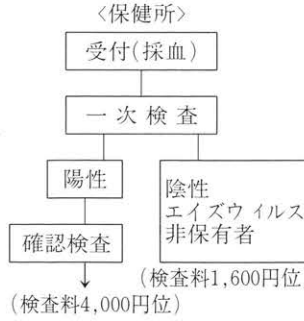
ごめい福をお祈りします

赤ちゃん	父	続柄	部落
岡林 杏里	修 一	博 枝	長 女
中島 秀星	初 見	みよし	二 男
4・12・29	4・12・8	4・12・29	日 浦
			相 名
			部 落

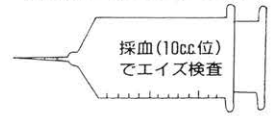
ご出産おめでとうございます

室戸保健所
安芸保健所
第2・4(水)検査実施
第1・3(月)検査実施

相談受付
エイズ予防財団
0120-177-812
(月)～(金)
午前10時～午後5時



検査ってどうするの？



血液検査で、エイズウイルスに感染しているかどうか判定します。エイズの検査は色々な所でされており、秘密は守られます。

エイズってなあに？(2)

- 心配ないこと
- 握手、体に触ってもうつりません。
 - 食器を一緒に使ってもうつりません。
 - 咳・くしゃみでもうつりません。
 - プール・風呂・トイレ・水飲み場でもうつりません。
 - 空気感染しない。
 - 献血でも大丈夫です。
- 注意すること
- むやみに血液に触らない。
 - 触るときは清潔な布やビニールなどをあてる。
 - 触れたら流水で洗い流す。
 - きまったパートナー以外とは性交渉をもたない。

● 交通災害共済制度のあらまし

1. 加入資格

高知県内町村に住み、住民基本台帳に記録されている方、または外国人登録をしている方。

2. 申込み期間

平成5年2月1日から3月31日まで
(但し、4月1日以降でも随時加入することができます。)

3. 申込み先

馬路村役場総務課または魚梁瀬支所。

4. 共済掛金

1人あたり600円

5. 共済期間

平成5年4月1日から平成6年3月31日まで(但し年度途中の加入者については申込日の翌日から残りの期間までとします。)

6. 対象になる交通事故

日本国内で自動車、電車、自動車、原付自転車、軽車両(身体障害者用車椅子)等によりおこった人身事故

7. 見舞金の請求期間

被災日から2年以内

8. 見舞金の支払制限

天災、故意、自殺、交通三悪などによる場合は見舞金を支払いません。(同乗者が上記事故により災害を受けた場合も含みます。)

■ 災害見舞金支払事項

1. 交通事故にあったら請求期間内に役場で手続きして下さい。(用紙は役場にあります。)
2. 死亡の場合は、見舞金受取りの資格を持つ遺族代表が請求して下さい。この場合遺族代表届を要することがあります。(戸籍謄本を必ず添付して下さい。)
3. 交通事故証明をどうしても受けられない事故の場合は、目撃者が居れば、目撃者証言録を作成してもらって下さい。(用紙は役場にあります。)
4. 見舞金の決定及び支払通知が届いたら、請求者自身が役場へ出向いてお受け取り下さい。印鑑は請求時と同一のものをご持参下さい。

■ 災害見舞金等級表

等級	傷 害 の 程 度	見舞金額
1	死亡(事故当日より180日以内の死亡)	800,000円
2	治療実日数360日以上の傷害	180,000円
3	240日以上360日未満の傷害	130,000円
4	150日以上240日未満の傷害	90,000円
5	90日以上150日未満の傷害	60,000円
6	30日以上90日未満の傷害	40,000円
7	7日以上30日未満の傷害	20,000円
8	7日未満の傷害	10,000円

(但し、後遺症による治療は除きます。)